

1 次の(1)～(15)の各文について、(㉠)～(㉡)に入る語句等をそれぞれア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 次のA～Dの文の空欄にそれぞれ適切な語を当てはめたとき、使わない語は(㉠)である。

- A () 鮮鋭く追及する B その情報は() 噂ものだ
C 新商品に思わず食() が動く D 新() の思いで故郷を離れる

ア 眉 イ 眼 ウ 腸 エ 指 オ 舌

(2) 次の文で擬人法を用いているものは(㉡)である。

- ア 君は私の太陽だ。 イ 人生はドラマだ。
ウ 友達が勝者のごとく振る舞う。 エ まるで嵐のような喝采だ。
オ 北風が戸をたたく。

(3) 鎌倉時代に、京都から迎えた幼少の将軍を後見して幕政を支え、尼将軍として政治を主導した人物は(㉢)である。

- ア 足利尊氏 イ 日野富子 ウ 源頼朝
エ 北条政子 オ 井伊直虎

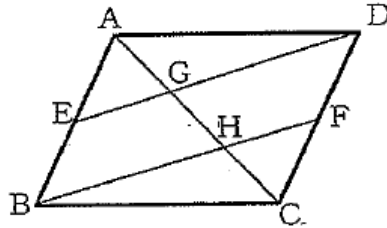
(4) インフレーションの説明として、最も適切なものは(㉣)である。

- ア 外国通貨に対する円の価値が高まること。
イ 世界全体で株価が一気に下落すること。
ウ 物価水準が持続的に上昇すること。
エ 経済活動の規模が縮小してGDPが減少すること。
オ 失業者が急激に増加すること。

(5) 計算した値が無理数となるものは(㉤)である。

- ア $\sqrt{2}+\sqrt{2}$ イ $\sqrt{2}-\sqrt{2}$ ウ $\sqrt{2}\times\sqrt{2}$ エ $\sqrt{2}\div\sqrt{2}$ オ $(\sqrt{2})^2$

(6) 平行四辺形 ABCD の辺 AB、CD の中点をそれぞれ E、F とし、ED、BF と対角線 AC の交点をそれぞれ G、H とする。AB=4、AC=5、BC=5 のとき、 $\triangle AEG$ と相似な三角形の 1 つは (6) である。



ア $\triangle AED$ イ $\triangle AGD$ ウ $\triangle ABC$ エ $\triangle CDG$ オ $\triangle BCF$

(7) 下の表は、銅粉を加熱して空気中の酸素と反応させ、酸化銅を生成させたときの実験結果である。下記の結果より、反応する銅と酸素の質量比はおよそ「銅：酸素 = (7)」である。ただし、銅粉はすべて酸化銅に変化したものとする。

生成した酸化銅の質量 (g)	0.15	0.25	0.34	0.50	0.62
反応した酸素の質量 (g)	0.03	0.05	0.07	0.10	0.12

ア 4 : 1 イ 4 : 5 ウ 5 : 1 エ 6 : 1 オ 6 : 5

(8) 大きさが 10Ω と 30Ω の抵抗を並列につないだ回路に、 $3.0V$ の電圧を加えると、 10Ω の抵抗に電流が $0.30A$ 流れた。回路全体の抵抗の大きさは (8) Ω である。

ア 7.5 イ 15 ウ 20 エ 30 オ 37.5

(9) 情報に関する略語と正式名称の組合せとして、誤っているものは (9) である。

ア DX - Digital Transformation イ IP - Internet Protocol
 ウ LAN - Local Area Network エ ID - Identification
 オ IT - Internet Technology

(10) 次の楽器の中で、木管楽器は (10) である。

ア トランペット イ ホルン ウ フルート
 エ トロンボーン オ チューバ

(11) 次の空欄に当てはまるものとして、最も適切なものは (11) である。

I go to work by train and it is always packed. This morning, I took the first train. It wasn't so crowded and I got a seat. You know what people say, " ()".

- ア When in Rome, do as the Romans do.
- イ It is no use crying over spilt milk.
- ウ The early bird catches the worm.
- エ So many men, so many minds.
- オ Two heads are better than one.

(12) 下の表は、先週の天気である。表を踏まえると、次の会話文中の "that day" に当たる曜日は (12) である。

A: It was hot that day.

B: Yes, it was. I remember I was very sweaty.

A: I checked the temperature on that day and it was higher than the day before:

B: Also, I remember I went out with an umbrella thinking it would rain.

A: Indeed, the weather changed later on.

B: It did. I am glad I brought my umbrella with me,

【表: "that day" を含む週の平日の天気】

曜日	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
天気	晴れ	晴れのち雨	雨のち曇り	曇りのち雨	雨
最高気温/最低気温	23℃/14℃	25℃/16℃	21℃/14℃	18℃/13℃	20℃/14℃

- ア Thursday イ Tuesday ウ Friday エ Wednesday オ Monday

(13) 情報技術を使って、エネルギー使用を最適にする制御を行い、省エネルギーを実現する住宅は (13) である。

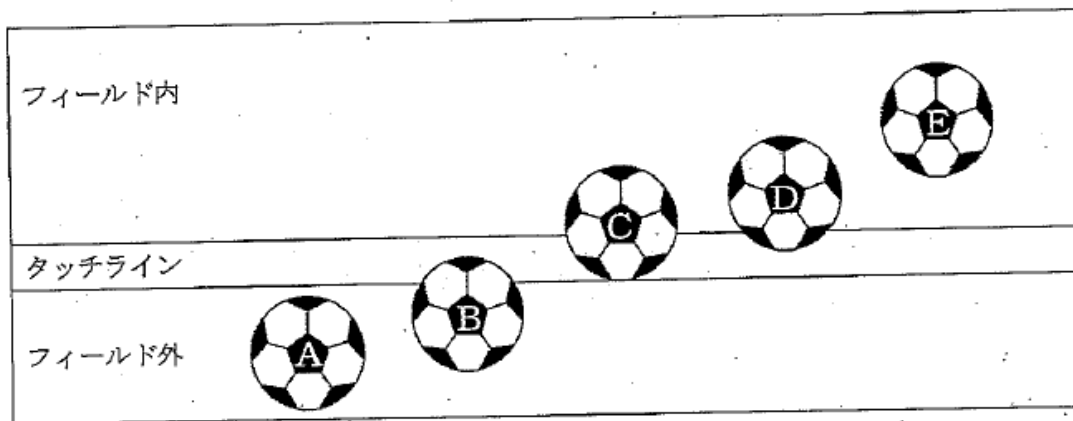
- ア モビリティハウス イ コーポラティブハウス ウ シェアハウス
- エ コレクティブハウス オ スマートハウス

(14) 病原体の種類がウイルスでない感染症は (14) である。

- ア インフルエンザ イ 風疹 ウ 麻疹 エ 結核 オ 水痘

(15) サッカーの競技規則において、ボールアウトオブプレーとなるものは (15) である。

【タッチラインを真上から見た図】



ア Aのみ

イ AとB

ウ AとBとC

エ AとBとCとD

オ すべて

KYOSAI-GUIN

(3) 江戸時代には、門人たちに学問や芸能を教える私塾が多く設けられ、優れた人材を輩出した。次の文の(20)に入る語句を以下のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

(20) は、オランダ商館医であったドイツ人のシーボルトが、文政期に診療所を兼ねて長郊外に開いた私塾である。

ア 松下村塾

イ 鳴滝塾

ウ 慶應義塾

エ 咸宜園

オ 古義堂

Kyosai-guild.jp

3 次の(1)～(4)の条文について、(A)、(B)に入る語句の組合せとして正しいものをそれぞれア～エから一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1) 教育基本法 前文

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、(A)を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、(B)と創造性を備えた人間の育成をするとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ア A:個人の人権 B:豊かな人間性

イ A:個人の尊厳 B:豊かな人間性

ウ A:基本的人権 B:確かな人間性

エ A:生命の尊厳 B:確かな人間性

(2) 地方公務員法 第35条

職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の(A)のすべてをその職遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ(B)しなければならない。

ア A:気力 B:奉仕

イ A:集中力 B:従事

ウ A:注意力 B:従事

エ A:能力 B:奉仕

(3) いじめ防止対策推進法 第8条

学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、(A)でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する(B)を有する。

ア A:学校全体 B:責務

イ A:学校全体 B:義務

ウ A:該当学年 B:職務

エ A:該当学年 B:責任

(4) 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
第3条第4項

義務教育の段階における普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の（ A ）を十分に尊重しつつ、その年齢又は国籍その他の置かれている事情にかかわらず、その能力に応じた教育を受ける機会が確保されるようにするとともに、その者が、その教育を通じて、社会において（ B ）に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう、その教育水準の維持向上が図られるようにすること。

ア A：希望 B：前向き

イ A：希望 B：自主的

ウ A：意思 B：積極的

エ A：意思 B：自立的

KYOSAI-GUILD.JP

4 「小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）」、「中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）」、「高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）」の総則では、児童（生徒）の発達を支える指導の充実について、次のとおり述べられている。文中の(25)～(28)に入る語句を以下のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号の()には同じ語句が入る。

(1) 学習や生活の基盤として、教師と児童（生徒）*¹との信頼関係及び児童（生徒）*¹相互の(25)人間関係を育てるため、日頃から学級（ホームルーム）*²経営の充実を図ること。また、主に集団の場面で必要な指導や援助を行う(26)と、個々の児童（生徒）の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う(27)の双方により、児童（生徒）の発達を支援すること。

(略)*³

(2) 児童（生徒）*¹が、自己の存在感を実感しながら、(25)人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童（生徒）*¹理解を深め、(28)と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。

(注)*¹.小学校学習指導要領は児童、中学校高等学校学習指導要領は生徒と表記している。

(注)*² 小学校・中学校学習指導要領は学級、高等学校学習指導要領はホームルームと表記している。

(注)*³ 小学校学習指導要領のみ該当する。

ア 好ましい	イ 家庭生活	ウ カウンセリング	エ 学習指導
オ シェアリング	カ よりよい	キ ピア・サポート	ク ガイダンス

5 「第3次学校安全の推進に関する計画（令和4年3月25日文科科学省）」では、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実について、次のとおり述べられている。文中の(㉑)～(㉓)に入る語句を以下のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。

新学習指導要領において「社会に開かれた教育課程」の実現を図ることとされる中、防災教育についても、地域の防災リーダーなどの資格者やボランティアなどの人材、公民館における防災講座なども(㉑)として活用することが重要である。消防署と学校の連携のみならず、地域に密着して「(㉒)」の役割を担っている消防団、自主防災組織、自治会やまちづくり組織等の地域コミュニティの活動と、学校における防災教育を関連付けることや、防災・減災に専門性を持つ大学・NPO等が学校における避難訓練をはじめとする防災教育に参画するなど、地域の実情に応じた防災教育を進めることも重要である。

また、避難訓練については、例えば、大地震の発生を想定した訓練では、余震等を伴うことを訓練で再現しているか、高確率で停電が発生することを想定して校内放送を使用しない訓練を行っているか、悪天候時や揺れの渦中など校庭に集合することが合理的ではない場合を想定して訓練を行っているかなど、学校現場における訓練が(3)なものとなっていないことが指摘されている。災害の発生が学校の教育活動中ではない場合も想定し、児童生徒等が様々な場所にいる場合にも自らの判断で安全に対処できる力を身に付けられるようにするため、児童生徒等が安全教育で身に付けた力を発揮し行動する場として避難訓練を位置付け、訓練を通して児童生徒等が(2)を振り返り課題を見付け改善を図る課題解決の学習の流れとなるよう意図的計画的に実施し、より実効性のある訓練になるよう見直しを図る必要がある。

ア 周囲の状況

イ 現実的

ウ 教育資源

エ 身近

オ 共助

カ 自らの行動

キ 教材

ク 自助

6 『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最・適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（令和3年1月26日中央教育審議会）」では、遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について、次のとおり述べられている。(33)～(37)に入る語句を以下のア～コから一つずつ選び、記号で答えなさい。

○ 学校教育におけるICTの活用にあたっては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科等において育成すべき資質・能力等を把握し、心身に及ぼす影響にも留意しつつ、まずはICTを日常的に活用できる環境を整え、児童生徒が「(33)」として活用できるようにし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かしていくことが重要である。

(略)

○ なお、ICTの活用にあたっては、(34)を考えながら活用することが重要であり、ICTを活用すること自体が(35)しないようにするとともに、例えば旧来型の学習観に基づく(36)等に偏ったICTの活用に陥らないように注意する必要がある。また、(37)を共有することで得られるものが失われる危険もあるため、その活用方法については、教師と児童生徒との具体的関係の中でしっかりと見極めることが必要である。

ア 文房具

イ データ

ウ 操作スキルの向上

エ 問題解決的な学習

オ 空間や時間

カ 教具

キ 目的化

ク 形式化

ケ 機械的なドリル学習

コ 教育効果

7 「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（令和3年6月文部科学省）」では、障害のある子供の教育支援の基本的な考え方について、次のとおり述べられている。文中の(38)～(41)に入る語句を以下のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号の()には同じ語句が入る。

障害のある子供が、地域社会の一員として、生涯にわたって様々な人々と関わり、主体的に社会参加しながら心豊かに生きていくことができるようにするためには、教育、医療、福祉、保健、労働等の各分野が一体となって、社会全体として、その子供の自立を生涯にわたって教育支援していく体制を整備することが必要である。

このため、早期から始まっている(38)支援を就学期に円滑に引き継ぎ、障害のある子供一人一人の精神的及び身体的な能力等をその可能な最大限度まで発達させ、学校卒業後の地域社会に主体的に参加できるよう移行支援を充実させるなど、(39)が強く求められる。

障害のある子供一人一人の教育的ニーズを把握・整理し、適切な指導及び必要な支援を図る特別支援教育の理念を実現させていくためには、早期からの(38)支援、就学相談支援就学後の継続的な教育支援の全体を「(39)」と捉え直し、(40)の作成・活用等の推進を通じて、子供一人一人の教育的ニーズに応じた教育支援の充実を図ることが、今後の特別支援教育の更なる推進に向けた基本的な考え方として重要である。

(40)の作成・活用等により、障害のある子供一人一人について、

- ・ 教育的ニーズの整理
- ・ 支援の目標や(41)を含む必要な支援の内容の検討
- ・ 関係者間の情報共有の促進と共通認識の醸成
- ・ 家庭や医療、福祉、保健、労働等の関係機関との連携強化
- ・ 教育的ニーズと必要な支援の内容の定期的な見直し等による継続的な支援

などの効果が期待でき、その取組を強力に推進していくことは、特別支援教育の理念の・実現につながるものである。

ア 基礎的環境整備

イ 一貫した教育支援

ウ 切れ目ない支援

エ 個別の教育支援計画

オ 特別な指導

カ 教育上の合理的配慮

キ 個別の指導計画

ク 教育相談

8 「生徒指導提要（令和4年12月文部科学省）」について、次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。

(1) 第1章では、生徒指導の定義と目的について、次のとおり述べられている。(A)、(B)に入る語句の組合せとして正しいものを、以下のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

生徒指導の定義

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や(A)を行う。

生徒指導の目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見と(B)の伸長と社会的資質能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ア A: 助言 B: 向上心や可能性 | イ A: 助言 B: よさや自主性 |
| ウ A: 補助 B: 向上心や自主性 | エ A: 援助 B: よさや可能性 |

(2) 次の図は、生徒指導の重層的支援構造を示したものである。図の(43)～(45)に入る語句を、以下のア～カから一つずつ選び、記号で答えなさい。

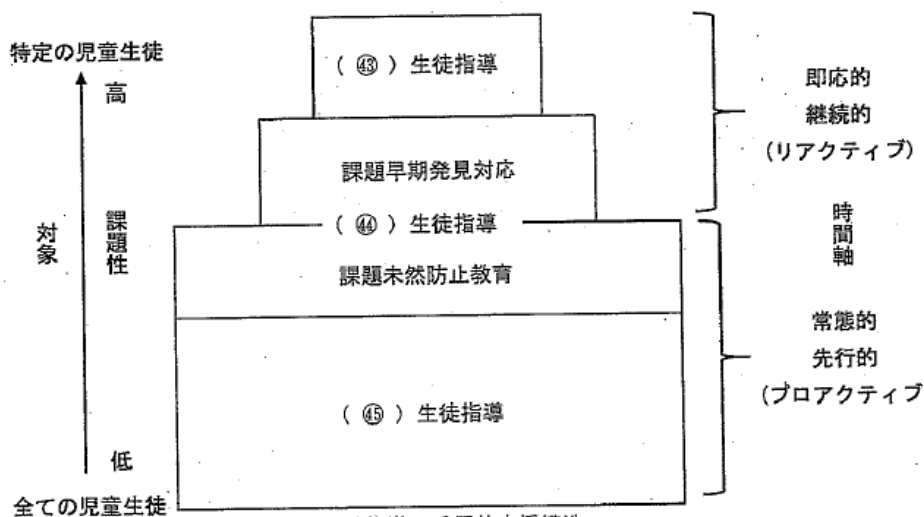


図 生徒指導の重層的支援構造

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| ア 発達支持的 | イ 基礎基本的 | ウ 困難課題対応的 |
| エ 重大課題対応的 | オ 課題予防的 | カ 予測対応的 |

(3) チーム学校を実現するための視点が書かれた次の文のうち、誤っているものを以下のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 心理や福祉等の専門スタッフを学校の教育活動の中に位置付け、教員と専門スタッフとの連携・協働の体制を充実させる。
- イ 副校長の配置や、教頭の複数配置、事務長の配置など、校長の権限を適切に分担する体制や校長の判断を補佐する体制の整備によって、管理職もチームとして取り組む。
- ウ 教員が持てる力を発揮できるように、校務分掌や校内委員会の持ち方、業務の内容や進め方の見直し、教職員のメンタルヘルス対策等に取り組む。
- エ 職員が絶えず自らの生徒指導実践を振り返り、教職員同士で相互に意見を交わし、学び合うことのできる同僚関係が不可欠である。
- オ 情報の収集と伝達を円滑に進めるためのネットワークを学校の内外につくるには、管理職を頂点としたトップダウンのピラミッド型組織をつくることが求められている。

9「生徒指導提要（令和4年12月文部科学省）」では、いじめ防止につながる発達支持的生徒指導について、次のとおり述べられている。文中の(47)～(50)に入る語句を以下のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号の()には同じ語句が入る。

児童生徒が、「(47)の大切さとともに(48)の大切さを認めること」ができる人権(49)を身に付けるように働きかけるためには、教職員が、一人一人の児童生徒が大切にされることを目指す人権教育と生徒指導は密接な関係にあり、いじめ防止につながる相乗的な効果を持つものであることを意識することが必要です。

また、市民性を育む教育を行うことも重要です。いじめ防止につながるという視点からは、発達段階に応じた法教育を通じて、「誰もが法によって守られている」「法を守ることによって社会の安全が保たれる」という意識を高めるとともに、学校に市民社会のルールを持ち込むことも必要です。その際、児童生徒のみならず、教職員も保護者も、学校に関係する地域の人々も、市民社会のルールを尊重することが求められます。

児童生徒が「多様性を認め、人権(50)をしない人」へと育つためには、学校や学級が、人権が尊重され、安心して過ごせる場となることが必要です。こうした学校・学級の雰囲気を経験することによって、児童生徒の人権(49)や共生(49)は養われます。

- | | | | |
|------|------|------|-------|
| ア 自分 | イ 侵害 | ウ 社会 | エ 他の人 |
| オ 人間 | カ 相手 | キ 感覚 | ク 差別 |

正答番号

問題	正解番号	問題	正解番号
問題1	イ	問題26	ク
問題2	オ	問題27	ウ
問題3	エ	問題28	エ
問題4	ウ	問題29	ウ
問題5	ア	問題30	オ
問題6	エ	問題31	イ
問題7	ア	問題32	カ
問題8	ア	問題33	ア
問題9	オ	問題34	コ
問題10	ウ	問題35	キ
問題11	ウ	問題36	ケ
問題12	イ	問題37	オ
問題13	オ	問題38	ク
問題14	エ	問題39	イ
問題15	ア	問題40	エ
問題16	ウ	問題41	カ
問題17	エ	問題42	エ
問題18	ア	問題43	ウ
問題19	オ	問題44	オ
問題20	イ	問題45	ア
問題21	イ	問題46	オ
問題22	ウ	問題47	ア
問題23	ア	問題48	エ
問題24	エ	問題49	キ
問題25	カ	問題50	イ